

令和7年度 学校園評価シート

学校園名

加古川市立野口保育園

1 保育理念	一人一人を大切にし、自分らしさを発揮するこどもを育てる
2 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人のこどもの生き生きとした生活と遊びを育む ○一人一人の育ちと集団としての育ちを大切にする ○日々の保育実践を振り返り、保育士及び保育園の自己評価体制を築いていく ○すべての保育士、調理員が協働体制を組んで、こどもの育ちを支援していく ○異年齢保育を通して、育ち合う仲間関係を築いていく ○小学校とのなめらかな接続を図り、5歳児の育ちを支援していく ○食育を通して、心身の健康やよい習慣が得られるようにする
3 保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生活リズムを整え、健康な心と体を育む ○遊びを通して人と関わる喜びを感じ、信頼感を育む ○自然と触れ合い、感じる心や伸び伸びと表現する力を育む ○どんなことにも挑戦する意欲を育む

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身に付くよう、日々の生活の中で丁寧に関わっている。 ・挨拶や返事など、人との関わりの中で大切な習慣が育つように働きかけている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達や個人差を踏まえ、一人一人の様子を職員間で共有しながら関わり方を見直す。 ・日々の生活の中で繰り返し丁寧にに関わり、こどもが自分であろうとする気持ちを大切にする。 ・職員が率先して挨拶を行い、日々の生活の中で自然に挨拶ができる環境をつくる。
健康な体を育み、生き生きと活動する	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊びや運動遊びを日々の保育に取り入れ、こどもが十分に体を動かし伸び伸びと意欲的に活動できる環境や関わりを大切にする。 ・こどもがあきらめずに取り組めるよう、過程を認める声かけや援助をおこなっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や遊具、自然環境を活かし、体を十分に動かして遊べる環境づくりをおこなう。 ・こども一人一人の発達や興味を踏まえ、無理のない小さな目標を設定できるように援助する。 ・こどもの「やってみたい」という気持ちを引き出す遊びや活動を計画的に取り入れる。
様々な人と関わる喜びを感じ、思いやりの心を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や保育者と関わりながら遊ぶ楽しさを感じられる環境を整え、遊びを取り入れる。 ・様々な人と関わり、親しみや感謝の気持ちをもつ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や異年齢児と関わって遊ぶ機会を意欲的に取り入れ、関わりの楽しさを感じられる環境を整える。 ・友達や周囲の人との関わりの中で、相手の思いや優しさに気づけるように保育者が言葉を添えていく。
身近な自然や社会事象に興味や関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然（草・花・虫・季節の変化など）に触れる機会をもったり、小動物に触れ、親しみをもち命の大切さに気づいたりする。 ・野菜の栽培や収穫を経験し、様々な食材に興味や関心をもつ。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や自然体験の機会を増やす。 ・こどもの発見や疑問を保育活動につなげる工夫をする。 ・絵本や図鑑などを活用し興味関心を広げる。
保護者との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳を通してこどもの様子を丁寧に伝える。 ・保護者の思いや相談に耳を傾け、適切に対応する。 ・クラスだよりや掲示物などで園での様子を分かりやすく伝えている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なコミュニケーションを大切に、安心して相談できる関係づくりを行う。 ・SNSなど情報発信の方法や内容を工夫し、保育の理解につなげる。 ・職員間で保護者対応の共有を行い、組織的な対応を心掛ける。